当院における
入院時持参薬管理

静岡赤十字病院　薬剤部　神谷令子

当院の概要

- 病床数　517床
- 診療科　23科
- 1日平均外来患者数　約1100人
- 1日平均外来処方箋枚数　約550枚
  （院内処方箋率　約98％）
- １日平均入院処方箋枚数　約130枚
- 薬剤師数　21名+産休１名
- 調剤助手　2名
- 事務　2名

入院時持参薬管理業務手順(予約入院患者)

●持参薬無
患者は病棟へ
●持参薬有
入退院管理室から薬局へ連絡

患者、家族と面談
●持参薬の内容、アレルギー歴、副作用歴、服薬状況等確認
●持参薬預かる

●入院時持参薬預かり票をカルテに添付

●患者は病棟へ

●入院時持参薬指示表に記入

●薬剤の整理

●預かった持参薬に指示表を添付して病棟へ
（指示表はカルテに閉じる）
●麻薬がある場合は麻薬箋に記載し病棟控、返納箋を添付
●ＡＭ入院患者で昼の服用薬がある場合は、確認終了次第病棟へ連絡

●指示表の複写は薬剤部保管
●服薬指導が必要なら新たに依頼箋を提出

① 診療録

入院時持参薬指示表

入院日
平成　　年　　月　　日

病棟　　患者氏名

患者ＩＤ

薬剤師　確認者

看護師　確認者

月日	指示内容	薬品商品名又は薬剤一般名	規格	薬剤用量（1回与薬毎の用量）						臨時	持参数	当院処方	当院採用	代替薬（同成分・同効）		医師	受領者
	続行 中止 変更			食前 食間 食後	起床	朝	昼	夕	眠前	屯用			有 無	同成分	同効		
	続行 中止 変更			食前 食間 食後	起床	朝	昼	夕	眠前	屯用			有 無	同成分	同効		
	続行 中止 変更			食前 食間 食後	起床	朝	昼	夕	眠前	屯用			有 無	同成分	同効		

薬剤師服薬指導内容及びコメント		薬剤師からのコメント
アレルギー歴	有　無	
原因物質	症状	
副作用発現歴	有　無	
原因物質	症状	
ＯＴＣ服用	有（品名　　）　無	
健康食品摂取	有（品名　　）　無	
持参薬の理解	良好・どちらともいえない・不良	
服薬状況	良好・どちらともいえない・不良	

「薬剤師服薬指導内容及びコメント」欄の記載内容

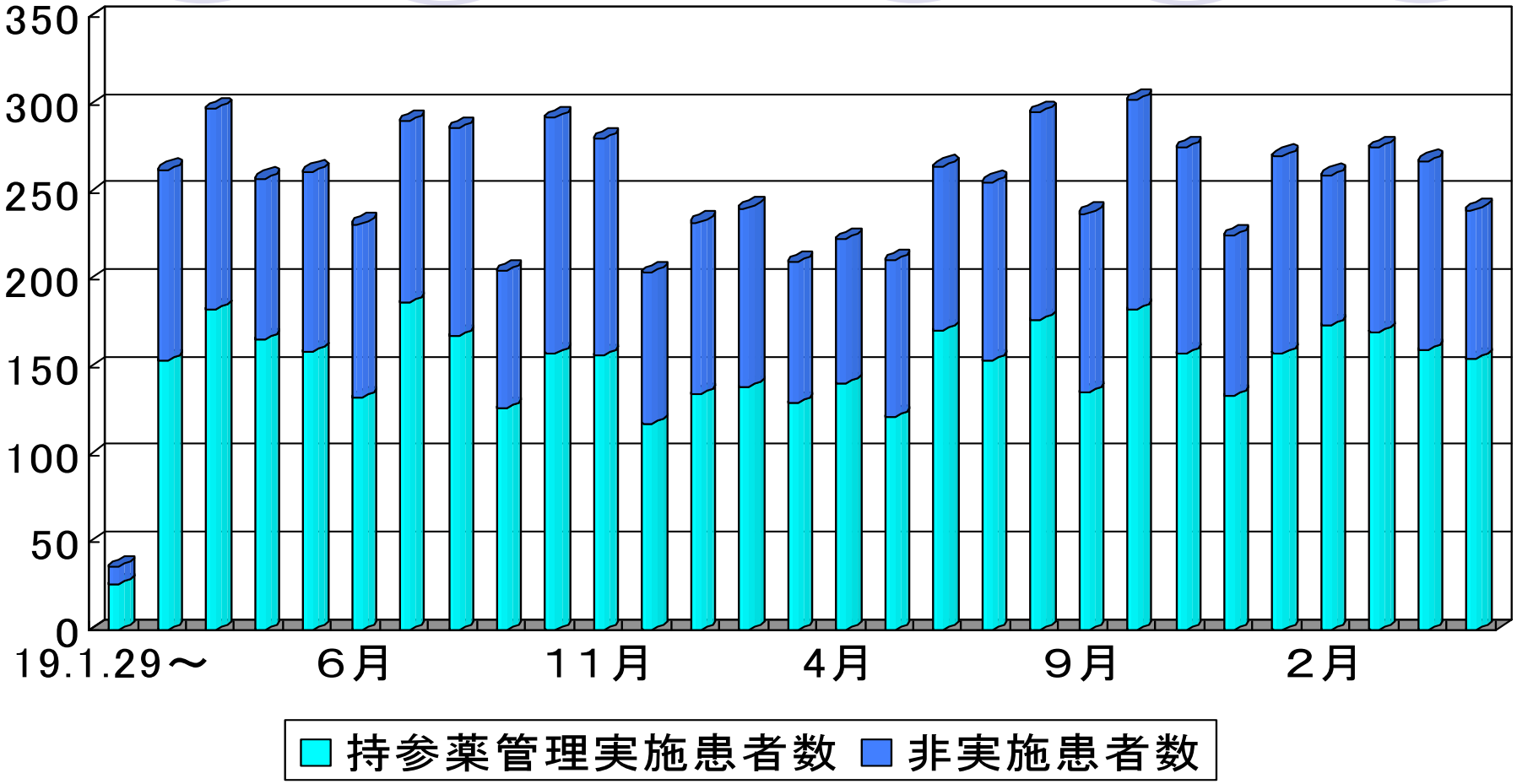
●患者および家族から聴取したアレルギー歴、副作用発現歴、ＯＴＣ服用薬、摂取している健康食品、持参薬の理解度、服用状況について記入する。

●コメント欄には以下の薬剤について注意喚起できるよう記入する。

①強心剤	②抗凝固剤	③抗血小板剤
④糖尿病薬	⑤抗がん剤	⑥免疫抑制剤
⑦ステロイド	⑧麻薬	⑨覚せい剤原料
⑩向精神薬	⑪気管支拡張薬	⑫抗てんかん薬

また、患者に聴取した内容で医師・看護師に伝えるべきと思われる内容や患者に指導した内容についても記載する。

入院時持参薬管理実施患者数（予約入院患者）



持参薬管理により回避できる問題点

持参薬の内容に関するもの		患者側の問題点	
投与禁忌薬の処方	手術予定の患者に対する抗血小板薬、抗凝固薬処方、中止の指示もれ	服用・使用の自己調節	自己判断による薬剤の増減、中止
重複投与	・H_2ブロッカー、PPI ・胃粘膜保護剤 ・NSAIDS	保管法が守られない	・薬袋からすべて出す ・ヒートから薬剤をすべて出す ・有効期限切れ
用法指示の不十分	薬剤の用法指示、指導が不十分で患者が正しく使用していない （例　糖尿病薬など）	服用間違い	薬効を誤って理解していることによる服用間違い
調剤上の問題点	・医薬品の取り違い ・薬剤の規格・数量の誤り ・薬袋の記載ミス	食物との相互作用	ワーファリンと食物